



© sayaka

# 野鳥さが

発行者：宮原明幸 編集者：馬場順一 イラスト：中村さやか

日本野鳥の会佐賀県支部



トウネン



キリアイ



サルハマシギ



カラフトアオアシシギ

換羽中のシギたち (秋の東よか干潟にて/撮影：加藤 芳隆さん)

## 野鳥さが 248号 主な内容

- 役員会報告-----2ページ
- 事務局便り-----3ページ
- コアジサシ営巣地繁殖支援活動報告-----5ページ
- 各地の探鳥会報告-----9ページ
- 皆さんからのおたより-----11ページ
- 皆さんからの野鳥&自然・生きもの情報-----12ページ
- 近隣地区の観察会情報&有明海の満潮時刻-----14ページ
- 探鳥会会場までの案内-----15ページ
- 探鳥会などのお知らせ(2023年10月~11月)-----16ページ



## 役員会報告

(事務局:島田 洋)

【日 時】 2023年8月6日、8月20日、9月17日

【出席者】 8/6:10名 8/20:13名 9/17:12名

【主な話し合い項目】 (既に終了した案件については割愛したものがああります)

### (1) 支部創立30周年行事について

- ① 日本野鳥の会佐賀県支部は、令和6年に創立から30周年となる。
- ② 2024年(令和6年)6月23日に創立30周年行事を開催する予定。
- ③ 会場は佐賀駅前の「グランデはがくれ」を予定している。
- ④ 行事内容は、佐賀県支部総会、講演会、食事会などを計画している。  
同日に野鳥観察会も計画している。

### (2) ツルの分散計画について

- ① 鹿児島県出水市では多くのツルが越冬するが、集中しすぎている。
- ② 鳥インフルエンザが流行し、これまでに1500羽のツルが犠牲になった。
- ③ 日本生態系協会などがツルの分散計画をたてている。
- ④ ツル分散計画の一環として、東与賀に「ツルのねぐら」を2カ所設ける予定。  
一つは1ha、もう一カ所は5反(0.5ha)の広さである。
- ⑤ ねぐらには「安全とエサ」が必要であろう。水田に水を張った状態にしたり、ビオトープにしたりする予定。デコイも設置する。

### (3) コアジサシについて

- ① 諸富浄水場跡にコアジサシの営巣地を設けた。営巣繁殖は大きな成果をあげ、116羽のヒナが巣立ちした。
- ② 今後もこの活動を続ける。営巣には白い砂利が適している。

### (4) コウノトリの営巣について

- ① 昨年白石町で営巣したコウノトリは、本年は白石町新観音の電柱に営巣し、ヒナが2羽巣立った。これからも佐賀県内でのコウノトリの営巣を期待したい。
- ② 白石町に「コウノトリを守る会」が結成される。
- ③ 有明海沿岸一帯が、営巣期待地域である。エサ場となるビオトープや新たな人工巣塔の設置なども検討している。

### (5) カササギについて

- ① 佐賀県の鳥「カササギ」は、生息数が激減している。
- ② 佐賀県にはカササギ保護にさらに積極的に取り組んでほしい。
- ③ 佐賀県支部からも県に働きかけていく。



(8) 密猟対策連絡会について

- ① 支部長が密対連の会議に出席してきた。
- ② 密猟や違法飼育は相変わらず多い。密猟などを発見したら警察に通報してほしい。
- ③ 佐賀県はやっと違法飼育の疑いに対して現物確認をすることを決めた。

(9) その他、愛鳥モデル校活動、佐賀市鳥類調査、ブッポウソウの巣箱、水ものがたり館・アオバズクの対策、今後の探鳥会などについての協議を行った。



## 事務局便り

(事務局:青柳 良子)



### (1) ようこそ 佐賀県支部へ！・・・支部入会者情報

支部報 247 号でお知らせした以降の入会者情報をお知らせいたします。

8月入会者 1名      9月入会者 2名 (うち家族会員1名)

10月入会者 2名

佐賀県支部の会員は現在268名です。

新入会員の皆様！ 積極的に参加してください。

また、入会はしたけれどもまだ一度も参加されていない方もいらっしゃいます。

是非いらしてください。お待ちしております！

『観察会に参加できないから・・・』とか『高齢だから・・・』との理由で退会される方もおられます。

私たち野鳥の会は鳥や自然を愛でる趣味の会ですが、同時に野鳥を大切にする活動を通してどんどん失われていく自然を守る自然保護団体でもあります。

私たち一人一人の数が！

みんなの出し合う会費が！

自然を守る『力』になります！

「会員」でいることが「自然保護に協力していること」になるのです。

お願いします。経済的にご負担でなければ会に籍を置き続け、今残る自然を次の世代へ引き継ぐ『力』を貸してください!!

みなさまの周りに花や昆虫など自然の生き物に興味・関心をお持ちの方はいらっしゃいませんか？ 是非お誘いください。野鳥の会は 「いつでも入会 OK」です。

#### 日本野鳥の会とは

「野鳥も人も地球のなかま」を合言葉に、野鳥や自然の素晴らしさを伝えながら、自然と人間とが共存する豊かな社会の実現を目指し、活動を続けている自然保護団体です。



## (2) 支部創立30周年に向けて

来年（2024年・令和6年）6月は 佐賀県支部設立30周年となります。

そこで「30周年記念行事」について計画を練り始めました。

その中の一つの「記念バッジ」があります。

20周年記念は「佐賀県の鳥・カササギ」、25周年記念は「東よか干潟の代表・クロツラヘラサギ」のバッジを作りました。

さて30周年記念にはどの鳥のバッジがいいでしょうか？

会員の皆様からのお声をお聞きしたいと思っています。 できれば図案も！

図案を寄せていただける方は10月末までに事務局の青柳まで。

メールで送ってくださる方は [t-y-ao@cronos.ocn.ne.jp](mailto:t-y-ao@cronos.ocn.ne.jp)

紙に描いて送ってくださる方は 〒845-0001 佐賀県小城市小城市町276-1

青柳良子 宛

お寄せいただいた図案は役員会で検討して決定します。 奮ってご応募ください。

なお、出来上がりのバッジの大きさは25mm×25mmぐらいですが、図案はコピー用紙B5版のおおきさに描いてくださって構いません。

ご質問のある方は 090-1659-7353 まで。 よろしくお願ひします。

## (3) 唐津市「道の駅」に「ツバメの子育て応援感謝状」贈呈

前号の事務局便りでもお伝えしましたが、ツバメが作った巣を20年以上にわたって保護し続けている唐津市の「道の駅」に、「日本野鳥の会」から感謝状を贈りました。

感謝状が贈られたのは、唐津市厳木町にある「道の駅 厳木風のふるさと館」です。

14日に日本野鳥の会の感謝状を、道の駅の鍵山勝広店長に手渡しました。

この道の駅では、ツバメが作った巣を20年以上にわたって保護し続けて来られました。

ツバメの巣が住宅の軒先などにできると、フンが落ちるのを嫌って壊されるケースが増えてますが、道の駅にできた7つの巣の下には段ボール箱が置かれたり、逆さまにした傘が取り付けられたりしていて、フンが散乱しないよう工夫され守ってます。

感謝状を受け取った鍵山店長は「せっかくツバメが遠い距離を渡ってくるのに、巣を壊すのはかわいそうだと思う。なんとか保護し続けたいです」と話していました。

数を減らしているツバメ。 会も『ツバメの子育て応援事業』協力して行きます。

皆さまも、ツバメを守る取り組みをされてる団体ご存じでしたら紹介して下さい。





## コアジサシ営巣地繁殖支援活動報告

(水田 稔、高山 昭彦)

佐賀県支部では昨年に続き諸富の浄水場跡地でコアジサシの繁殖を営巣地の整備をすることで支援してきました。 昨年は初めての活動だったので、要領が分からずに最初のヒナが孵化した夜中にネコに襲われる事件がありました。 最初は犯人が分からずに徹夜をして監視をしてくださった支部会員さんもおられました。

ネコの侵入事件のあと抱卵中のつがいは全て居なくなりましたが、外周のネットを補強することにより、しばらくすると営巣活動が始まり最終的に 25 羽のヒナが巣立ちました。

今年は、昨年の経験から外周のネットの設置方法の改善等により、当初 50 羽のヒナが巣立つのを目標にしていたが、最終的に 120 羽のヒナが孵化し（内 4 羽死亡を確認）大成功となりました。（公財）佐賀未来創造基金様の「e-さが基金」及び久光製薬様より助成基金を頂き、営巣地の整備に使わせて頂きました。

### ※支援活動の経過

(写真提供：水田 稔さん)

【4月1日、2日】 支部会員の方々の協力のもと外周ネットの設置、土管・デコイの設置、カラスよけの「いやがらす」の設置を行いました。

【4月2日】 整備作業2日目の帰りにコアジサシ2羽が初飛来しました。

昨年より6日早い

【4月23日】 営巣地の地面に卵の保護色となる「牡蠣殻」を砕いて撒いた。 海岸の砂浜の環境に近づけるため。



4/1 営巣地の整備



4/13 カキガラ撒き

【4月24日】 抱卵開始 3か所。 昨年とほぼ同じ時期

【5月3日】 2羽孵化確認。抱卵開始から3週間で孵化するので、抱卵開始はもう少し早いかも。

【5月23日】 営巣地にアオダイショウが侵入。捕獲し車で遠くに放す。

昨年は3回くらい捕獲しましたが、今年も知らないうちに侵入していたかも。

【6月15日】 営巣地にハヤブサが飛来。コアジサシ成鳥1羽が犠牲になった模様。

昨年もハヤブサは何度か飛来したが、犠牲は出なかった。 今年も、その後10ヶ所程度の営巣を放棄した模様。

【7月11日】 残り全ての幼鳥が巣立つ。 後に7月15日に幼鳥1羽が孵化するが、7月23日に死亡を確認。





5/11 多数のコアシサシが飛来



6/10 カキガラの上で子育て中



6/16 コアシサシ幼鳥

【8月12、13日】 営巣地の今期の活動を終了し片づけを開始する。昨年は8月の最終土・日で作業が完了しましたが、今年は外周のネットに蔓が巻き付き作業が捗りませんでした。

【8月26、27日】 営巣地の最終片づけ、ネット・土管・デコイ・等の資材を搬出。



8/26 営巣地の片付けと放棄した卵の状況

※高山昭彦さんからは“LINE”によりリアルタイムでグループ内に実況中継されました。

【4月13日】 手がかじかむほどの冷たい朝です。でも気持ちのいい朝です。

2~3羽ずつ飛んで来ては求愛給餌しています。コチドリは8羽確認。

門の近くまで来て見つめてくれます。とてもフレンドリーです。

【4月25日】 無風で気持ちのいい朝です。8羽すわっています。だいたい同じ場所です。コチドリ4羽、かけっこしています。かわいいです。

【5月18日】 いよいよやってきました。コアシサシ村のベビーラッシュ！

あいにく今日と明日は雨模様。でも土・日は雨もあがるので素晴らしい瞬間を経験できるかもです。そして一週間後にはチョロチョロするヒナが見られるでしょう。

今は26番（シェルター用土管の番号）前のヒナが一番近いかと思います。

【5月22日】 静かな朝です。親鳥をじっと見つめているとひょっこりヒナが顔を出します。それがかわいくてかわいくてほっこりします。今日もあちこちで見ることができました。ベビーラッシュはしばらく続きそうです。

（水田稔さんからのライン）本日アオダイショウが出現しました。ヒナの孵化状況を双眼鏡で確認中にヘビが視界に入りました。急いでカギを開け足元に注意しながらヘビをやっとのことで押さえることができました。でもヒモで固縛しようとチャレンジしたのですが、結局は支部長に助けを求めました。

（※ヘビは 遠くへ連れて行って放しました）

【5月29日】 帰り支度をしているとコアジサシ村が大騒ぎになりました。

カラスが電線にとまっているではありませんか！ カラスはコアジサシ村の様子を窺っているようでした。こりゃ大変！と思い小道具を取り出して追い払いました。ちょっとコアジサシ君たちの役に立ちました。満足 満足・・・

【6月12日】 青空が靉々明るい薄曇りです。 幼鳥の後頭部が黒くなってきました。

羽も出そろいシルエットが親とそっくりになってきました。食欲も旺盛で餌を運んで来た親にすばやく駆け寄りゲット！ でも、横取り狙う兄弟姉妹。

「追いかける 追いかける。逃げる 逃げる。」 まるで鬼ごっこです。

飛行訓練も結構上手になりました。

【6月15日】 (山田茂さんからのライン) 今日朝から上空にハヤブサが現れましたが、親たちはすぐにスクランブル発進。 追撃するとハヤブサは為す術もなく去りました。コアジサシ達の強い結束力と勇猛果敢な攻撃力はすごいです。

ところが！！

【6月16日】 昨日のハヤブサの襲来は衝撃的でしたね。 残念ですがコアジサシが捕食された可能性はありますよね。コアジサシの飛行が上手なので捕まらないのでは・・・と勝手に思い込んでいました。 やむを得ませんね。自然の摂理ですから。

【6月30日】 6月最後は警報級の大雨になりそうです。 コアジサシ村の門近くには大きな池ができていました。 幼鳥たちは皆元気です。 親鳥は抱卵中と思しき3羽以外は見当たりません。 今日のコアジサシたちにとって試練の日です。

どうぞ警報級の大雨を乗り切ってください。

【7月3日】 雨すごいです。テントに叩きつける雨音で何も聞こえません。 厚い雲で薄暗く視界も不明瞭。 そんな中確認できた幼鳥たちは雨をものともせず凛々しい姿を見せています。ただ幼鳥の数や抱卵中と思しき親鳥は十分確認できません。 天気回復を待ちます。

【7月5日】 雨がやんだ5:30に8羽の幼鳥が飛び立ちました。 しばらくして数羽戻ってきましたが村は全体的に寂しい感じです。一時期の賑やかさはありません。抱卵中の個体以外はあと一週間もすればいなくなるのでは・・・ 日々寂しくなるコアジサシ村からでした。

【7月11日】 久しぶりに晴れ間が見えます。 幼鳥はもういません。これまでに総数120羽ほど巣立って行ったと思われます。

寂しさもありますが、コアジサシ バンザーイ！

佐賀県支部 バンザーイ！



コアジサシ親子

「左側に卵が一つ見えます。親鳥はその卵を温めながら、2羽のヒナの世話もしていました。

(写真提供:八木ひとみさん)

※今年の営巣地の整備で工夫した点を下記に記します。

- ① 営巣地の外周ネット設置方法を昨年より改良した。より高く、より強固にした。今年の繁殖成功の一番の項目だと思います。
- ② 土管に番号を表示した。 観察者同士の場所を示すのに役立った。記録がとり易くなった。

- ③ 営巣地に牡蠣殻の砕いたものを撒いた。 最初の頃は、8割利用する。最終的には6割以上が牡蠣殻を利用する。

※今年度のコアジサシ営巣の最終データ

- ① 営巣ヶ所 61 巣（内 14 ヶ所放棄、ハヤブサ襲撃及びヘビの侵入と思われる。）
- ② 成鳥数 130 羽程度。
- ③ 孵化数 120 羽（内 4 羽 死亡）

※来年度への課題

- ① ハヤブサの襲撃への対策。 昨年は三交代で常時監視員が常駐していましたが、ハヤブサへの威嚇になっていたのかもしれませんが。 対策は今後の課題です。
- ② 外周ネットの蔓巻付き対策。 週に二回程度外周を見廻り、取り除く。

コアジサシ営巣地の保護活動も2年目となり確実に実績が出来つつあります。来年度もより良い営巣地の環境を整えて、今年以上の成果を上げたいと思います。また、営巣地の設置や片づけには大人数の方が楽にできます。 来年も時間の都合がつかない人は、参加をお願いいたします。

コアジサシ営巣地 孵化状況記録 【諸富浄水場跡地】

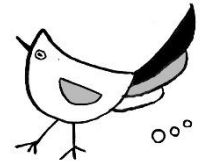
月	4月		5月										6月							7月							
	2	20	13	14	20	21	22	23	25	26	29	30	1	2	3	4	5	6	7	10	12	13	15	19	15		
15												○															
14												○															
13												○															
12						○						○															
11					○	○						○															
10					○	○						○															
9					○	○						○															
8					○	○						○										○					
7					○	○	○					○	○			○						○					
6					○	○	○					○	○			○						○					
5				○	○	○	○					○	○			○	○					●	○	○			
4			○	○	○	○	○					○	○			○	●	○				○	○	○			
3			○	○	○	○	○	○			○	○	○	○			○	○				○	○	○			
2			○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
1			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
牡蠣殻			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
地面												○	○			○	○	○				○	○	○	○		
備考	コアジサシ初飛来	抱卵開始														6 / 1 8 落鳥						6 / 2 6 落鳥			7 / 1 0 落鳥	ハヤブサ襲来	7 / 2 3 落鳥

まとめ : 61か所 営巣 : 14ヶ所 放棄 120羽 孵化、4羽 落鳥 牡蠣殻利用率 40巣/61巣





## 各地の探鳥会報告



### ■北山少年自然の家探鳥会報告（佐賀市）

【日 時】 2023年7月30日

【参加者】会員25名（案内役：宮原 明幸）

【観察された野鳥】カワウ、アオサギ、トビ、キジバト、カワセミ、アオゲラ、ツバメ、セグロセキレイ、ヒヨドリ、ウグイス、シジュウカラ、ホオジロ、カワラヒワ、イカル、ハシブトガラス（15種）

【案内役より】

7・8月 暑いし、鳥達も子育て終盤・換羽の時期で姿を見せない時期でバードウォッチングには不向きですが・・・山は涼しく、少しは鳥も居るかと思いましたが。やはり振るわず、鳥も出ない、花も無い、気温は下界よりは低いものの湿度は高い！で終わりました。

唯一、今回のトピックスは散策道のトンネルで珍しいコウモリに出会えました。

1頭だけで種名も分かりませんが、トンネルの上部に逆さまに止まるコウモリ観察するのは初めてでした。

### ■東よか干潟（大授搦）探鳥会報告（佐賀市）

【日 時】 2023年8月20日

【参加者】会員13名（案内役：田中丸 雅雄、加藤芳隆）

【観察された野鳥】カワウ、アオサギ、ダイサギ、チュウサギ、コサギ、ダイゼン、ハジロコチドリ、シロチドリ、メダイチドリ、オオメダイチドリ、オオハシシギ、オグロシギ、オオソリハシシギ、チュウシャクシギ、ダイシャクシギ、ホウロクシギ、アカアシシギ、コアアシシギ、アオアシシギ、キアシシギ、ソリハシシギ、キョウジョシギ、オバシギ、コオバシギ、トウネン、ハマシギ、トビ、ハヤブサ、ツバメ（29種）

【案内役より】

4月9日以来、久しぶりの東よか干潟での探鳥会です。

本日は8月初旬に山科鳥類研究所がフラッグを付けた「ハマシギを見つける」を目標としました。朝から残暑が厳しい。シチメンソウヤードに降り、キアシシギ、ソリハシシギを見る。途中ハヤブサの襲来があり、鳥たちは何度も飛び立つ。中央部に移動し、夏羽が残るオバシギ、コオバシギ、オオハシシギを見る。次に、この夏初めてのオグロシギ、アカアシシギを見る。暑さのため早めに終了する。フラッグ付きハマシギは見つけられなかったが、オオソリハシシギのフラッグ付きを見つけれられた。

### ■ツバメの塘（ねぐら）入り観察会報告（佐賀市）

【日 時】 2023年9月3日

【参加者】会員27名 非会員19名（案内役：宮原 明幸）

【観察された野鳥】アオサギ、ダイサギ、ゴイサギ、カルガモ、ハヤブサ、ツバメ、ハクセキレイ、スズメ、カラス（同定不明）（9種）

【案内役より】

福岡県からの参加が17人、財団の「ツバメのねぐら入り観察会」の案内を見て来られた方々です！今年の埽は、少し上流に移った牛小屋付近のあし原。太陽が空を真っ赤に染める頃から三々五々集まり出し、とっぴり暮れるまで四方より約2万羽が集まり乱舞、やがて静かになりました。参加された方々も歓声が上げ、感動されてましたが・・・年々少なくなるツバメです。

---

### ■非会員様限定バードウォッチング 開催報告

---

#### ■ツバメの埽（ねぐら）入り観察会（佐賀市）

【日 時】 2023年9月10日

【参加者】会員8名 非会員31名（案内役：宮原 明幸）

【観察された野鳥】アオサギ、ダイサギ、カルガモ、アオアシシギ、ソリハシシギ、ツバメ、スズメ（7種）

【案内役より】

佐賀新聞で取り上げられた影響で、佐賀県内はもちろん福岡県や長崎県からの参加もありました。太陽が空を真っ赤に染める頃から、集まり乱舞するツバメに皆さん感動され歓声が上ってました。また、RKBテレビと西日本新聞も取材に見え、紹介して頂きました・・・会に入る方、有れば良いですね？

---

【 支部協力の観察会 報告：馬場 清さん 】

佐賀市大詫間公民館主催の「ツバメねぐら入り観察会」が8月28日と9月11日の2回行われました。

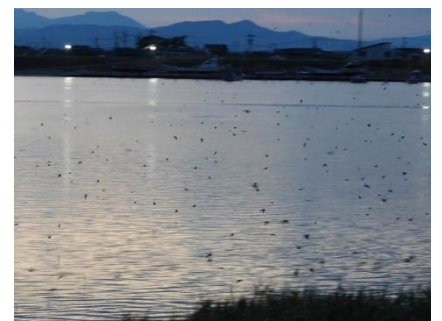
1回目は7名の参加者、2回目は公民館受付20名と現地参加者が5名ありました。宮原支部長の解説があり、双眼鏡の貸出と操作方法の説明をしました。数台の車に分乗して、河口堤防へ移動する。既に数十羽が飛び交っていた。段々と夕闇が迫ると数も増して行きました。皆さん数の多さに圧倒されて歓声をあげていました。子ども2人は初めて見る光景に言葉をなくし、ただ唖然としていた。

2回目はRKBテレビの取材が入り、西日本新聞記者も来られました。翌日以降に報道されました。

例年も是非参加したい旨、残されて散会としました。

スタッフは4名でした。お疲れさまでした。

（9月11日 撮影：馬場 清さん）→



（写真提供：八木 ひとみさん）





## 皆さんからのおたより



### ●「ロスアンジェルス探鳥」・・・八木 ひとみさん（佐賀市）

6月上旬、大谷選手の応援にロスアンジェルスに行きました。  
 エンジェルス球場でナイターを3試合見るので、昼間はレンタカーで探鳥です。  
 1日目は海の近くのボルザ・チカ環境保護地。 アメリカコアジサシなどための繁殖用にかなりの広さを人や動物が入れないようなフェンスで囲ってありました。 コサギと思っていたら、調べると「ユキコサギ」でした。 ツバメのお腹が茶色なのにびっくり。ウタスズメ、サバンナシトド、アカクロサギ、アメリカダイシャクシギなどに会えました。2日目はハイウェイで3時間ほど内陸部砂漠のジョシアツリー国立公園砂漠に行きました。巨石とジョシアツリーがたくさんです。 ワタリガラス、ノドグロヒメドリなどに会えました。



ユキコサギ



ツバメ



ウタスズメ

3日目は近くのアナハイム コーブスパークへ。  
 住宅地と水域の間の細長い公園でした。舗装された遊歩道を歩くだけでたくさんの鳥に会えました。 犬をつれて散歩する人もいますが、鳥たちはさっと低木の茂みに隠れます。スプリンクラーで散水されており、自然な感じで花や木がたくさんあり、鳥たちは住みやすそうです。 マネシツグミがあちこちで高らかに囀ります。初めて見るハチドリ「アレンハチドリ」はセミくらいに小さかったです。カリフォルニアカケス、ヒメコンドルなどたくさんの鳥たちに会えました。水域側はフェンスで仕切られていますが、網目からのぞくと、メリケンアジサシが繁殖しているらしく、アメリカシロペリカン、ガン、カモ、クビナガカイツブリなどがいました。すばらしい探鳥地です。

探鳥地は eBird Japan「ホットスポットを探す」で決めました。「詳細を見る」を押すとそこで見られた鳥の名前が写真と日付で表示されていてとても便利です。



マネシツグミ



アレンハチドリ



カケス

● 「コウノトリの子育て記録」・・・秀島 泉さん（多久市）

『コウノトリの子育て記録』という動画を作成し「youtube」に投稿いたしました。

<https://www.youtube.com/watch?v=kla-ncZDKAo>

● 「カメラでウオッチング from “OUTI” Part6」

・・・小松 常光さん（唐津市相知町）

【卵】近所の先輩が田んぼのアゼ草刈りを中断して「畔にタマゴがある。何の卵だろう、どうしようか？」と訪ねてこられた。 現地に向かうと巣の周りの草を刈り残してあり6個のタマゴがあった。卵の色、大きさは鶏の卵と全く同じ。観察することにして3日後、留守だった母鳥が温めているところを確認。 ネット検索と併せてアイガモの卵ということになった。（7/20）

【破られた卵】アイガモの子育てに悲劇が！！ 10個くらいに増えていた卵を親鳥が温めていたのに、育ったヒナは「ゼロ」のようだ。

孵化せず残っていた卵もカラスにつつかれて巣の外に転がっていた。（8/19）



アイガモの卵



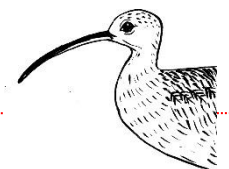
破られた殻



引き出された巣材と羽毛



## 皆さんからの野鳥&自然・生きもの情報



■加藤 芳隆さん（上峰町）

★今日の大授搦（東よか干潟）

【8月6日】シロチドリ、メダイチドリ、オオメダイチドリ、ムナグロ、ダイゼン、トウネン、ハマシギ、コオバシギ2羽、オバシギ、キリアイ1羽、コアオアシシギ、アオアシシギ、ソリハシシギ、キアシシギ、オオソリハシシギ2羽、ダイシャクシギ、ホウロクシギ、クロツラヘラサギ7羽、ダイサギ、アオサギ

【8月14日】シロチドリ、メダイチドリ47羽、ダイゼン303羽、オオメダイチドリ、トウネン、ハマシギ、コオバシギ2羽、オバシギ、キリアイ5羽、オオハシシギ2羽、アカアシシギ1羽、コアオアシシギ、アオアシシギ485羽、ソリハシシギ304羽、キアシシギ38羽、オグロシギ1羽、オオソリハシシギ8羽、ダイシャクシギ11羽、ホウロクシギ33羽、チュウシャクシギ98羽、クロツラヘラサギ8羽、セグロカモメ3羽、ズグロカモメ2羽、カモ18羽（種不明）、コサギ2羽、ダイサギ206羽、アオサギ184羽、カワウ、トビ、ツバメ

※オオハシシギとアカアシシギは初認。



【8月15日】シロチドリ、メダイチドリ、オオメダイチドリ、ダイゼン、キョウジョシギ 1羽、ヨーロッパトウネン 1羽、トウネン、ハマシギ、コオバシギ 4羽、オバシギ、キリアイ 8羽、オオハシシギ 2羽、アカアシシギ 4羽、コアオアシシギ、アオアシシギ、ソリハシシギ、キアシシギ、オグロシギ、オオソリハシシギ 11羽、ダイシャクシギ、ホウロクシギ、チュウシャクシギ、クロツラヘラサギ、ダイサギ、コサギ、アオサギ、カワウ、セグロカモメ、ズグロカモメ 4羽、ユリカモメ 1羽、トビ、スズメ、ツバメ ※ヨーロッパトウネン夏羽が居ました。

オオソリハシシギ、キリアイ、アカアシシギ増えてました。

【8月29日】シロチドリ、メダイチドリ、オオメダイチドリ、ダイゼン、キョウジョシギ、ヨーロッパトウネン、トウネン、ハマシギ、コオバシギ、オバシギ、キリアイ、オオハシシギ、アカアシシギ、コアオアシシギ、アオアシシギ、ソリハシシギ、キアシシギ、オグロシギ、オオソリハシシギ、ダイシャクシギ、ホウロクシギ、チュウシャクシギ、ウズラシギ ※キリアイ、トウネンの数が増えていました。

【8月31日】ハジロコチドリ、シロチドリ、メダイチドリ、オオメダイチドリ、ダイゼン、キョウジョシギ、トウネン、ウズラシギ、ハマシギ、サルハマシギ、コオバシギ、オバシギ、キリアイ、エリマキシギみ、オオハシシギ、アカアシシギ、コアオアシシギ、アオアシシギ、カラフトアオアシシギ 2羽、ソリハシシギ、キアシシギ、オグロシギ、オオソリハシシギ、ダイシャクシギ、ホウロクシギ、チュウシャクシギ



ムナグロ



キリアイ



カラフトアオアシシギ

★その他の地区

9月10日 【白石町】コウノトリ、ヒバリシギ、タカブシギ、ヨーロッパトウネン、トウネン、セイタカシギ、ウズラシギ、エリマキシギ、タシギ、サルハマシギ、ヘラサギ、ハヤブサ、チョウゲンボウ、アマサギ、ダイサギ、コサギ、アオサギ、カワウ、シマアジ、ハクセキレイ



カラフトアオアシシギ



ヨーロッパトウネン



## ● 近隣地区の探鳥会情報

日本野鳥の会本部HPにも最新の探鳥会情報  
がありますよ！ → <http://www.wbsj.org/>

### ■ 日本野鳥の会 福岡支部 (参加費：会員 100 円 一般 300 円 中学生以下無料)

- ・福岡市西区今津：10/1 (日) 11/5 (日) ・春日市春日公園：10/3 (火) 11/7 (火)
- ・福岡市大濠公園：10/14 (土) 11/11 (土) ・福岡市和白海岸：10/8 (日) 11/12 (日)
- ・筑紫野市天拝山：10/15 (日) 11/19 (日) ・福津市久末ダム：10/22 (日) 11/26 (日)

詳しくは福岡支部のホームページをご覧ください。

### ■ 日本野鳥の会 筑後支部 (参加費：会員&高校生 100 円 一般 200 円 中学生以下無料)

- ・小郡市花立山：10/1 (日) 11/5 (日) ・大牟田市黒崎公園：10/8 (日)
- ・筑紫野市山神ダム：10/15
- ・久留米市高良山：10/22 (日)
- ・みやま市濃施山公園：11/12 (日) ・久留米城址～筑後川：11/26 (日)

詳しくは筑後支部のホームページをご覧ください。

※上記以外にも、月例探鳥会（福岡支部）や企画探鳥会（筑後支部）が実施されています。

お問い合わせは各支部のHPへ 福岡支部 <http://hachikuma3.blog.fc2.com/>

筑後支部 <https://wbsj-chikugo.org/>



## 有明海の満潮時刻 (六角川観測塔)



※潮高 5m以上、午前 7 時頃から 12 時頃に満潮を迎える日時を掲載しています。

	時刻	潮高 (m)		時刻	潮高 (m)
10月1日	10:23	6.0	11月1日	11:16	5.3
10月2日	11:00	5.8	11月11日	7:49	5.0
10月3日	11:35	5.4	11月12日	8:28	5.3
10月13日	8:19	5.3	11月13日	9:07	5.4
10月14日	8:53	5.5	11月14日	9:47	5.4
10月15日	9:28	5.6	11月15日	10:26	5.4
10月16日	10:03	5.6	11月16日	11:04	5.2
10月17日	10:36	5.5	11月17日	11:43	5.0
10月18日	11:08	5.3	11月25日	7:30	5.2
10月19日	11:41	5.0	11月26日	8:19	5.4
10月26日	7:01	5.1	11月27日	9:05	5.5
10月27日	7:51	5.6	11月28日	9:49	5.4
10月28日	8:38	5.8	11月29日	10:28	5.3
10月29日	9:22	5.9	11月30日	11:05	5.1

### 満潮時刻と潮高をたしかめてから行こう！

#### ■ 東よか海岸

潮高 5.0m 満潮の2時間前くらいがベスト！

#### ■ 鹿島新籠海岸他

潮高 4.0m 満潮の1時間前後がベスト！

満潮時には、残された干潟に鳥が集まり、近くで見やすい状態になります。ただし、小潮だと遠すぎるし、大潮になると干潟が水没してしまって、鳥が移動してしまいます。)





## 探鳥会会場までの案内

交通手段が無い場合は、担当者までご連絡を！

①10月8日佐賀市・巨勢川調整池



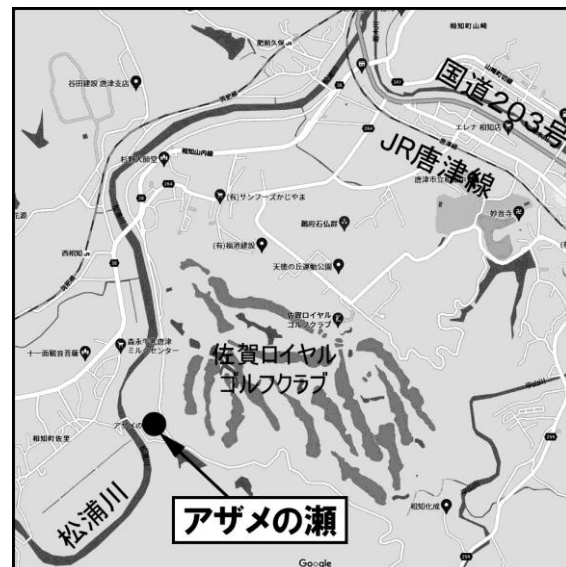
②10月15日 ④11月12日 東よか干潟



③11月3日 鳥栖市・鳥栖市民の森



⑤11月26日 唐津市・アザメの瀬



### ～野鳥さが原稿募集中～

① 詩歌・句・イラスト募集！ 皆様の作品をお待ちしています。気軽にご参加ください。

② 投稿・ご意見などをお寄せください。(編集部：馬場順一)

〒841-0053 鳥栖市布津原町 61 A12-11 携帯：090-5084-2649

(Eメール) f\_baba841@ybb.ne.jp





## 探鳥会などのご案内

(2023年10月～11月)

### ①10月8日(日)

#### 巨勢川調整池探鳥会(佐賀市)

[時間&場所] 9:00 佐賀市金立町 巨勢川調整池内の東名(ひがしみょう)縄文館駐車場  
 [担当] 島田 洋さん(佐賀市) 090-2393-1286  
 [見どころ] 秋になり渡って来た「カモ」を観察します。(トイレあり)

### ②10月15日(日)④11月12日(日)

#### 東よか干潟(大授搦)探鳥会(佐賀市)

[集合] (10/15) 8:00 (11/12) 8:00  
 東よか干潟展望台(佐賀市東与賀町田中)  
 [担当] 田中丸 雅雄さん(佐賀市)080-1707-9225  
 加藤 芳隆さん(上峰町) 090-4510-1560  
 [見どころ] 10/15 は越冬のため渡って来た鳥たち、11/12 は越冬する「ズグロカモメ」や「ツクシガモ」等を観察します。

### ③11月3日(祝)

#### 鳥栖市民の森探鳥会(鳥栖市)

[時間&場所] 9:00 鳥栖市河内町の鳥栖市民の森駐車場  
 [担当] 橋本 泰博さん(みやき町) 090-8833-6130  
 [見どころ] 河内ダム周辺で過ごす小鳥たちを観察します。(トイレあり)

### ⑤11月26日(日)

#### アザメの瀬 探鳥会(唐津市相知町)

[時間&場所] 9:00 唐津市相知町佐里のアザメの瀬自然環境学習センター駐車場  
 [担当] 川原 直嗣さん(唐津市) 090-8673-9152  
 [見どころ] 国土交通省自然再生事業で整備された「アザメの瀬」周辺の野鳥を探します。



観察会のお問い合わせは、佐賀県支部 web サイト(ホームページ)の「お問い合わせ」よりメール、又は宮原支部長の携帯電話(090-2507-7085)へ連絡をして下さい。

## 共通事項

- ① 参加費(資料代、保険代) 佐賀県支部会員 100円 非会員は 300円
- ② 雨天中止。(前夜 18:55 の NHK 天気予報で降水確率 50%以上の場合、原則として中止)
- ③ 集合に遅れる時は早めに担当者に連絡し、会場に不慣れな場合は、必要な指示を受けて下さい。
- ④ 帽子、雨具、水筒などは適宜ご持参ください。
- ⑤ 場所や交通手段、便乗の可否などのお問合せは各担当か事務局まで。

「野鳥さが」 ～日本野鳥の会佐賀県支部 会報～  
 公益財団法人 日本野鳥の会 〒141-0031 東京都品川区西五反田 3-9-23 丸和ビル  
 電話 03-5436-2620(代) FAX 03-5436-2636

日本野鳥の会佐賀県支部 支部長：宮原明幸 (☎ 090-2507-7085)  
 事務局：島田 洋 (☎ 090-2393-1286)  
 支部 web サイト <https://www.yacho-saga.org/>